

(様式第 1 号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

令和 7 年 11 月 21 日

国土交通省港湾局長 殿

みなと SDGs パートナー登録制度実施要綱第 4 条第 1 項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	名港海運株式会社
所 在 地	〒455-8650 愛知県名古屋市港区入船二丁目 4 番 6 号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 高橋 広
担 当 者 連 絡 先	電 話：052-661-8244
	メー ル：yasuharu.makino@meiko-trans.co.jp
ウ ェ ブ サ イ ト U R L	https://www.meiko-trans.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

<p>当社は、港湾運送を主軸とする総合物流企業です。名古屋港ではトップクラスのシェアを誇り、「海・陸・空」の各輸送モードを組み合わせた最適な物流サービスを提供しています。</p> <p>主な事業は、港湾での貨物積卸しから、倉庫での保管・流通加工、陸上・航空輸送に至るまで、国内外のネットワークを活かした一貫した物流サービスです。50 年以上の歴史で培ったノウハウと、グローバルな物流ネットワークを強みに、お客様の多様なニーズに貢献しています。</p>

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
✓環境 □社会 □経済	・ 気候変動への具体的な取組み ・ 脱炭素社会実現に向けた対応	・ 全事業所の照明に占める LED 照明の割合を 100%にする。 ・ 新規建設する倉庫の屋根への太陽光発電設備導入率を 100%にする。
□環境 ✓社会 ✓経済	・ 事業継続の体制構築 ・ 企業、組織レジリエンスの強化	・ 南海トラフ新基準、防災に関する新技術に対応した BCP マニュアルの見直し、体制の構築、実践的な訓練の実施。
□環境 ✓社会 ✓経済	・ 地域社会への貢献 ・ 事業を通じた経済への貢献 ・ 従業員の労働生産性の向上 ・ 働き方改革から働きがい改革へ	・ 地域貢献活動への積極参加や寄付行為の継続実施。 ・ 物流拠点へのトラックバース予約システムの導入、業務の ICT 化、最新機器導入による省力化・省人化の推進。


















(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(名港海運株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・全従業員が利用できる内部通報窓口、ヘルプラインを設けている。					5.1 5.b 5.c			8.5 8.8		10.3 10.4					
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・上記に加え、ハラスメント研修を随時実施している。					5.2 5.4			8.8							16.3 16.b
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・長時間労働の抑制の為、業務PCの利用時間に制限を設けている。 ・RPAを導入し単純作業の自動化、業務効率化を促進している。 ・長時間労働者に対し面談をし、所属長を含めた是正措置を行っている。			3.4					8.5 8.8							
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・外国人労働者に向け、物流拠点では多言語の注意喚起、マニュアルを作成し、日本人と変わらない職場環境づくりをしている。								8.8		10.3 10.7					
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・定期的に安全衛生委員会による現場巡回の実施、事故に繋がりがねない要素の確認、是正措置を行っている。 ・物流拠点では、毎日の朝礼で作業事故防止の注意喚起を図っている。			3.9					8.8							
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・年1回のストレスチェックの実施。 ・保健師によるプライバシーに配慮したカウンセリングの実施。 ・本社内にリフレッシュエリアを設置し、いつでも休息がとれる環境の整備。			3.4					8.8							
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・採用を基幹職に一本化し、性別、採用区分による待遇差を無くし、公平なキャリアパスを提供している。 ・育休者向け復職支援プログラムにより、育休者が安心して職場復帰できる取り組みをしている。 ・各々の状況に合わせ、職場環境を配慮するなど、持続可能な働き方ができるようにしている。 ・新規建設する倉庫では、障害者に配慮した設計を行っている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3					
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職階別に社内研修を行なう等、適切な能力開発を行っている。 ・ICTツールは全従業員が使用できる環境を整えており、DX推進の為にデジタル人材育成研修も行なっている。 ・資格取得への費用補助や資格手当、合格祝い金など自己啓発を奨励している。 ・当社事業に必要な不可欠となる保稅教育を、「蔵小屋」としてプログラム化し実施している。				4.4 4.7	5.5			8.5	9.b						
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・職階に応じて求められる事や給与レンジを公開することで、公正な待遇になるようにしている。					5.5			8.5		10.3					
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康経営優良法人認定取得に向け、健康宣言や体制作りをし、従業員の健康に配慮した取組みを行っている。 ・喫煙習慣のある従業員に対し、禁煙外来費補助や達成時報奨金制度を整備し、禁煙を強く推進している ・本社や多くの物流拠点と事業所にて、和やかな職場環境を創出するBGMを流している			3.4 3.a					8.5 8.8							

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット） 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・ICTツールを導入し、ペーパーレス化を進めている。 ・フォークリフトには再生タイヤを使用し、資源の有効活用とCO2排出量削減に取り組んでいます。 ・制服をリサイクルする為のリサイクルBOXを設置し、リサイクルセンターにて再資源化し、自動車の断熱材等に再製品化している。									9.4			12.2 12.4 12.5	13.2				
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・毎月のエネルギー使用量を記録し、エネルギー原単位の改善に取り組んでいる。							7.3						13.2				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・環境パフォーマンスデータを集計しており、照明のLED化や太陽光発電設備、バッテリーフォークリフトの導入等によりCO2排出量の削減を進めている。							7.2 7.3						13.2				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	・有害物質の洗浄を行なう拠点では、排水処理設備を用い、処理水が排水基準値以下になった事を確認後、適切な処理を行っている。			3.9			6.3						12.4					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・藤前干潟クリーン大作戦への参加をし、従業員に生物多様性について考える機会にしている。						6.6								14.1	15.1 15.4		
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	・環境パフォーマンスデータとして集計し、分析を行っている。 ・名港タンクデポでは、検査用水の貯水タンクを設け、水を再利用し、年間約5,000m ³ の水利用を削減している。						6.4											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している																		
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・HP上で取組み内容を公開している (太陽光発電設備導入やモーダルシフト推進)												12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・設置可能な事業拠点には、太陽光発電設備を導入し、グリーンエネルギーを生み出している。							7.2						13.2				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	・一部の車両にB5燃料を使用し、コンテナドレーを行っている。												12.2 12.7	13.2				
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・一部部署においてISO9001を取得している。 ・物流拠点や事業所毎に作業手順書の整備を行っている。									9.4			12.4 12.6					
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・物流拠点や事業所毎に、品質、安全、生産性に関する改善活動に日々取り組んでいる。 ・定期的に業務監査を実施している。									9.4								
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・輸送車両から排出されるCO2削減に向け、ステークホルダーとともに輸送車両のラウンド輸送やモーダルシフトに取り組んでいる。									9.1 9.4				13.2				17.17
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・物流拠点や事業所では、トラックバース予約システム導入や入出荷作業に関する改善推進を図り、輸送車両の待機時間の削減、業務のICT化、省人化を進め、物流業界の労働人口減少問題に取り組んでいる。								8.2 8.5	9.1 9.4								17.17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・交通安全や消防等の地域公職を務めることにより、地域の生活安全に貢献している。 ・名古屋港BCP、経済団体の防災部会等に参加し、地域防災力の向上に貢献している。											11.b						17.17

